

社会的責任と貢献活動

当会は、京都府を事業区域として、地元の JA 等が会員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の農業専門金融機関であるとともに、地域経済の活性化に資する地域金融機関です。

当会は農家組合員の皆さまの経済的・社会的地位の向上を目指し、JA との強い絆とネットワークを形成することにより JA 信用事業機能強化の支援を行うとともに、地域社会の一員として地域経済の持続的発展に努めております。

また、資金供給や経営支援などの金融機能の提供にとどまらず、環境、文化、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。

■ 地域貢献活動

■ 地域への資金供給の状況

当会の平成24年度末の貯金残高（譲渡性貯金を含む）は、9,738億円となり、うち9,053億円は府内 JA よりお預かりしています。

また、組合員を含めた地域の皆さまの計画的な資金作りをお手伝いさせていただくため、目的に応じた各種貯金や国債、投資信託等の金融商品の取扱いをしています。

■ 地域への資金供給の状況

当会の平成24年度末の貸出金残高は、786億円となりました。

組合員をはじめ地域の皆さまからお預かりしている大切な資金は、農家組合員や農業に関連する企業、地場産業ならびに地方公共団体等においてご利用いただいております。また、農業の担い手を金融面から積極的に支援するため、(株)日本政策金融公庫の受託貸付金の活用にも努めています。

■ 地域密着型金融への取り組み

1. 地域農業の発展、活性化を支援するため、当会内に農業金融センターを設置し、JA と一体となって次の通り取り組んでいます。

① 中小企業（農業者等）への経営支援に関する取組

農業者の協同組織金融機関として、健全な事業を営む農業者をはじめとする地域のお客さまに対して必要な資金を円滑に供給していくことを、「最も重要な役割のひとつ」として位置づけ、貸付条件の変更等の相談や申込みに柔軟に対応するよう、また、お客さまからの経営相談に積極的かつきめ細かく取り組み、経営改善への取組みを支援できるよう努めています。

② 農業担い手支援

各 JA に設置の担い手金融リーダーと連携し、担い手のニーズに応えるために、金融面からのサポートに取り組んでいます。

また、(株)日本政策金融公庫の農業経営基盤強化資金（スーパーL）や農業改良資金の活用により、農業者の自主性と創意工夫による経営規模拡大・改善を支援しています。

今後も各JAとの連携を一層強化するとともに、事業間の連携強化に取組み、農業制度資金はもとより当会農業資金の積極的活用による担い手支援を進めてまいります。

③JAバンク京都農業被害利子補給事業

農業経営基盤に甚大な被害を及ぼす自然災害により、農業被害を受けられた農業者等へのJA融資に対し、利子補給を行い、金利負担の軽減を図ることで農業経営の復興を支援しています。

平成24年度は、21件、98千円の利子補給を行いました。

④その他の支援

新規就農者への就農支援資金による支援等、京都府をはじめ関係機関と協調・連携し、活力ある京都府農業の支援に努めています。

⑤食農教育事業

府内の主たる担い手で構成する「京都府農協青壮年組織協議会」により、毎年、一般の消費者親子を招いて農業体験教室を開催しています。当会も、JAグループ京都としての支援を通じて、生産者と消費者をつなげる場を提供しています。



2. 農山漁村等地域活性化のための融資を始めとする支援

①JAグループ京都担い手対応連絡協議会を通じた取り組み

京都府農協中央会が組織する連絡協議会を通じて、他の連合会と事業間連携・情報交換を図るとともに、JAグループ京都農業法人協会に加盟の78会員を中心に訪問活動を展開し、資金ニーズの把握等に努めています。

②担い手に適した資金供給手法の取り組み

・資金コーディネート

農業者にとって最適な資金提供ができるよう、農業資金のパンフレット等も活用し、提案型の相談対応に努めています。

・アグリシードファンド

アグリビジネス投資育成株式会社のアグリシードファンドを活用し、地域の農業発展の核となる農業法人に対する資本増強を、農林中央金庫と連携して取り組んでいます。

3. JAバンクアグリサポート事業（JAバンクアグリ・エコサポート基金）

JAバンクとして、日本の農業・農村に対する支援を行うため、農林中央金庫が主体となって「JAバンクアグリ・エコサポート基金」を設立し、全国で事業を展開しています。内容としては「利子助成事業」、「食と地域の文化発信事業」、「JAバンク食農教育応援事業」「投資事業」の4つの事業があり、JAバンクが一体となって以下の活動を行っています。

①利子助成事業

JAが行う担い手向けなど一定の農業融資に対して、利子助成が行われています。京都府内においては、408件の融資に対し、7百万円の利子助成が行われています。

②JAバンク新規就農応援事業

新規就農希望者を育成するための研修受入先に対して、研修費用の助成が行われています。京都府内においては、4先に対し44万円の助成が行われました。

③京都府内の小学5年生を対象に食農教育の教材本を贈呈

「農業と食」「農業と環境」「農業と経済」をテーマとする補助教材を制作しており、JAバンク京都では、府内の公立小学校の5年生（約2万2千人）を対象に教材本を贈呈し、食農教育の理解促進に努めております。



④「JAキッズの大冒険～アグリ島の秘密を探れ～」を開催

JAバンク京都の取組として、体験学習イベント「JAキッズの大冒険～アグリ島の秘密を探れ～」を京都府内2会場で開催し、約1,600名の参加をいただきました。金融業務や農畜産業に関する体験学習を通じて、将来を担う子供達に「農業」や「自然環境」・「金融経済」について学んでもらう食農教育活動に取り組みました。



4. 農商工連携応援ファンドを通じた支援

当会では、京都府や地元金融機関、JA京都中央会とともに「きょうと農商工連携応援ファンド」に対して資金を拠出し、府内の農林漁業者と中小企業者の密接な連携による新たな京都ブランドの創造や農業経営の改善・向上を図る取組みに対して支援を行っています。

■ 文化的・社会的貢献について

1. グラウンドゴルフ大会の実施

府内JAにおいて組織された年金友の会の会員を対象としたグラウンドゴルフ大会を企画・運営しています。

グラウンドゴルフ大会

対象者：年金受給者（友の会会員）
目的：JA年金友の会会員の相互交流や親睦、健康の増進を図るため、京都府JA年金友の会グラウンドゴルフ大会を実施。
京都府大会開催日：平成24年10月30日
参加選手：96人（各JAの選抜チーム）



2. 「全日本大学駅伝対校選手権大会」への協賛・支援

全国のJAバンクで協賛する「秩父宮賜盃第44回全日本大学駅伝対校選手権大会」の関西地区予選会で支援活動を行い、全国大会出場を決めた立命館大学へ「亀岡牛肉」「京都丹後産コシヒカリ」を贈呈するなど、青少年育成支援とスポーツ応援に取り組みました。



3. 「京都丹波ロードレース大会」への協賛

京丹波町の一大イベントとして毎年盛り上がりを見せている「京都丹波ロードレース」に特別協賛し、地域振興とJAバンクの認知度の向上ならびにイメージアップに取り組みました。

4. 「京都サンガFC」への協賛

平成18年度より、京都のプロサッカーチーム「京都サンガFC」のオフィシャルスポンサーとなり、地域の皆さまとともに応援しています。

5. 広報活動

テレビ番組「あぐり京都」（企画・提供：JAグループ京都）やラジオ番組への協賛などを通じて、農業・農村の役割への理解や、食の安心・安全の浸透に努めています。

6. 年金相談会・住宅ローン相談会の開催

府内JAの各店舗における「年金相談会」、「住宅ローン相談会」の開催を支援し、地域の皆さまの相談ニーズに応えられるよう、相談員の派遣や資材の提供などに取り組みました。